



「そばでいい?」。油  
 庄シリンダー製造「東和  
 製作所」(美濃加茂市)  
 の社員食堂で、調理員か  
 ら聞かれると、板津英仁  
 社長(55)はにっこりとう  
 なずいた。「昼は週に  
 三、四回、ここでそばを  
 食べます。なかなかの味  
 です」と声を弾ませる。  
 創業した父を継ぎ、三  
 十六歳で社長に就いた。  
 そばに目覚めたのは、そ  
 の翌年。「気分転換に」  
 と、山登りに挑戦したの  
 がきっかけだった。長野  
 県松本市の常念岳に登っ  
 た帰りに寄ったそば屋の  
 味に感激。「香り、こり  
 こりした食感、のどご  
 し。すがすがしい気持ち  
 になって、はまりまし

東和製作所(美濃加茂市)

### 板津 英仁社長(55) × そば



社員食堂でそばを食べる板津社長＝美濃加茂市の東和製作所で

### 山登り挑戦がきっかけ

「働く車」のリフトな製品をアピールしてい  
 1。設計から製造までを  
 (平井一敏)

「一貫して手掛け、はじ  
 日本百名山を目標に登  
 山を続け、六十三山に登  
 頂した。「そば屋巡りの  
 方が楽しみなんですが」  
 と笑いつつ、「目標を持  
 つことは大事。明確な目  
 標を示し、次世代につな  
 げていくのが自分の役  
 割」と表情を引き締め  
 る。  
 「そばは地味な食べ物だ  
 けど、職人の腕で食感や  
 味が違つ。さらに技術  
 を磨き、さまざまなニーズ  
 に応える、キラリと光る  
 製品をアピールしてい  
 きたい」と力を込めた。